

陳 情 文 書 表

平 2 3 陳 情 第 1 5 号	平成 2 3 年 1 0 月 1 1 日 受 理
件 名	0.4%の年金引き下げを元に戻すとともに、物価指数による年金引き下げを行わないことを求める陳情
陳 情 者	秦野市鶴巻南5-2-14 全日本年金者組合秦野支部 支部長 内山 雄幸
陳 情 の 原 文	
<p>陳情趣旨</p> <p>4月から年金が0.4%引き下げられました。この10年以上、たびたびの引き下げはあっても、年金が引き上げられたことはありません。この間、年金課税は強められ、医療・介護保険料は上がり続けています。</p> <p>年金を0.4%引き下げた根拠は、総務省の消費者物価指数の低下です。しかし、指数を低下させたものは、高校授業料無料化、薄型テレビ・IT機器などの工業製品の低下であり、これらが高齢者の生活を反映するものではないことは明らかです。高齢者の生活に係る費用は、食料など生活必需品、高騰する税と保険料、健康を維持するための医療費などです。</p> <p>このことは、2010年の参議院選挙にも反映し、自由民主党のマニフェストには、高齢者の生活に合わせた新たな基準による物価スライドを創設するとあります。根拠の薄い年金引き下げは、年金生活者を苦しめるだけでなく、地域社会の活力を失わせることとなります。</p> <p>つきましては、本陳情の趣旨をご理解の上、次の事項について地方自治法第99条に基づき、国に対して意見書を提出していただきたく陳情いたします。</p> <p>陳情事項</p> <p>1 0.4%の年金引き下げを元に戻すとともに、物価指数の低下による年金引き下げを行わないこと。</p>	